（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	共生型デイサービス懐（共生型児童発達支援）

公表日 令和8年2月27日

利用児童数 令和８年２月２７日　９名　　回収数 ９名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6人	2人	1人	0人	子どもが安心して過ごせる空間として評価されている一方、医療的ケアや活動内容によっては、スペースの余裕を求める声も一部見られた。	安全面と安心感を大切にしながら、活動内容や医療的ケアの場面に応じた空間の使い方を工夫していく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7人	1人	0人	1人	職員配置については安心感をもって評価されており、特に医療的ケア児への対応が評価されている。一方で、活動内容や医療的ケアの場面では、さらなる手厚さを求める声も一部見られた。	現在の手厚い職員配置を維持しつつ、活動内容や医療的ケアの状況に応じた役割分担を行い、より安心できる支援体制を整えていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4人	1人	1人	3人	子どもが落ち着いて過ごせている点は評価されている一方、構造化やバリアフリー等の設備面については、実際の様子が見えにくく「分からない」と感じる保護者も多く見られた。	建物や設備の特性を踏まえつつ、環境設定や関わりの工夫を継続し、保護者にも分かりやすく伝えていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4人	1人	1人	3人	清潔で心地よい環境として評価されている一方、活動の様子が見えにくく、判断が難しいと感じる保護者も多く見られた。	清潔な環境の維持に努めながら、活動内容に応じた空間づくりや様子の共有を行っていく。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4人	1人	1人	3人	子どもの特性に配慮した支援が行われているとの評価がある一方、専門性の具体的な内容については見えにくく、「分からない」と感じる保護者も多く見られた。	子どもの特性を踏まえた支援を継続するとともに、支援の意図や関わり方について分かりやすく伝えていく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	3人	2人	1人	3人	支援内容そのものへの不満は少ないものの、公表されている支援プログラムと日々の支援との関係が分かりにくいと感じる保護者が多く見られた。	支援プログラムと日々の支援が結び付くよう、内容を分かりやすく説明し、保護者が理解しやすい情報提供を行っていく。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5人	2人	0人	2人	子どもの特性を踏まえた計画作成が行われているとの評価がある一方、計画内容や支援とのつながりが分かりにくいと感じる保護者も多く見られた。	引き続き子ども や家庭のニーズを踏まえた計画作成を行うとともに、計画内容について分かりやすい説明を心がけていく。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4人	2人	0人	3人	必要な支援が計画に反映されていると感じている保護者が一定数いる一方で、ガイドラインに基づく支援項目の整理については理解が難しく、「分からない」と感じる保護者も多く見られた。	ガイドラインに基づく支援の考え方について、日々の支援と結び付けながら、より分かりやすい説明を行っていく。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4人	2人	0人	3人	計画に沿った支援が行われていると感じている保護者が一定数いる一方、計画と日々の支援のつながりが分かりにくいと感じる保護者も見られた。	引き続き計画に基づいた支援を行うとともに、計画と日々の支援の関係が伝わるよう、分かりやすい説明を行っていく。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4人	2人	0人	3人	活動内容に工夫が見られるとの評価がある一方、実際の活動の様子が見えにくく、「分からない」と感じる保護者も多く見られた。	子どもの発達段階や状況に応じた活動を継続しながら、活動内容が分かりやすく伝わる工夫を行っていく。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3人	1人	0人	5人	地域や他の子どもとの交流については、実施状況が保護者に見えにくく、「分からない」と感じる保護者が多く見られた。	子どもの状況に配慮しながら地域との関わりを大切にし、実施している取り組みについて分かりやすく伝えていく。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4人	2人	0人	3人	利用開始時の説明について一定の評価がある一方、時間の経過や対応者の違いにより、内容が十分に印象に残っていない保護者も見られた。	利用開始時の説明を丁寧に行うとともに、必要に応じて内容を振り返る機会を設け、理解につなげていく。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4人	2人	0人	3人	支援内容の説明は行われているものの、児童発達支援計画を示しながらの説明については、十分に印象に残っていない保護者も見られた。	児童発達支援計画を用いた説明を丁寧に行い、支援内容がより分かりやすく伝わるよう工夫していく。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3人	2人	0人	4人	個別の相談や助言は評価されている一方、家族支援プログラムや研修会としての取り組みについては、実施状況が分かりにくいと感じる保護者が多く見られた。	家族への助言や情報提供を継続するとともに、取り組み内容や参加機会について分かりやすく周知していく。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	5人	1人	0人	3人	日常的な情報共有により、子どもの健康や発達について共通理解ができていると感じている保護者が一定数いる一方、やり取りの様子が見えにくいと感じる保護者も見られた。	引き続き日常的な情報共有を大切にしながら、必要に応じて丁寧な説明や相談の機会を設けていく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4人	2人	0人	3人	面談や子育てに関する助言については評価されている一方、実施の頻度や形が分かりにくいと感じる保護者も見られた。	必要に応じた面談や助言を継続するとともに、面談の機会や内容が分かりやすく伝わるよう工夫していく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5人	2人	0人	2人	職員の共感的な関わりについては安心感をもって評価されている一方、関わりの様子が見えにくいと感じる保護者も一部見られた。	引き続き共感的な関わりを大切にしながら、職員間での関わり方の共有を行い、安定した支援につなげていく。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2人	2人	0人	5人	保護者やきょうだい同士の交流については、一部で機会があると感じられているものの、実施状況が分かりにくく、「分からない」と感じる保護者が多く見られた。	行事等を通じた交流の機会を大切にしながら、家族やきょうだいが関われる取り組みについて分かりやすく周知していく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5人	2人	0人	2人	相談や申入れへの対応については安心感をもって評価されている一方、体制や相談方法について十分に認識されていない保護者も見られた。	引き続き迅速で丁寧な対応を行うとともに、相談や申入れの方法について分かりやすく周知していく。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5人	2人	0人	2人	意思疎通や情報伝達については丁寧に行われているとの評価が多く見られる一方、やり取りの様子が見えにくいと感じる保護者も一部見られた。	引き続き分かりやすい情報伝達を心がけるとともに、必要に応じて丁寧な共有を行っていく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4人	2人	0人	3人	情報発信は行われているものの、発信先や内容が十分に認識されておらず、「分からない」と感じる保護者も見られた。	情報発信を継続するとともに、閲覧方法や発信内容について分かりやすく周知し、必要な情報が保護者に届くよう工夫していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6人	1人	0人	2人	個人情報の取扱いについては安心している保護者が多く見られた。一方で、具体的な対応内容については把握していない保護者も一部見られた。	引き続き個人情報の適切な管理を徹底するとともに、必要に応じて取り扱いについて分かりやすく伝えていく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4人	2人	0人	3人	各種マニュアルや訓練の実施について一定の安心感はあるものの、内容や実施状況が保護者に十分伝わっていないと感じる声も見られた。	マニュアルに基づく対応や訓練を継続するとともに、実施内容や取り組みについて分かりやすく周知していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4人	2人	0人	3人	非常災害への備えについて一定の安心感はあるものの、訓練の実施状況や内容が保護者に十分伝わっていない様子が見られた。	定期的な避難訓練を継続するとともに、実施状況や内容について分かりやすく共有し、保護者の安心につなげていく。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	5人	2人	0人	2人	日常の支援を通じて安全への配慮は評価されている一方、安全確保の計画については十分に認識されていない保護者も見られた。	引き続き安全に配慮した支援を行うとともに、安全確保に関する計画や取り組みについて分かりやすく周知していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5人	2人	0人	2人	事故発生時の連絡や説明については安心感をもって評価されている一方、実際に経験していないため判断が難しいと感じる保護者も見られた。	事故等が発生した際には速やかな連絡と丁寧な説明を継続するとともに、対応の流れについて分かりやすく伝えていく。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	6人	1人	0人	2人	多くの保護者が、子どもが安心感をもって通所できていると感じており、事業所が子どもにとって落ち着いて過ごせる場となっていることがうかがえる。	引き続き子どもが安心して通所できる環境づくりと、個々の状態に応じた丁寧な関わりを大切にしていく。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	6人	1人	0人	2人	多くの保護者が、子どもが通所を前向きに受け止めていると感じており、安心して過ごせる環境の中で通所できている様子がうかがえる。	引き続き子ども一人ひとりの気持ちや体調に配慮しながら、安心して楽しく通所できる関わりや環境づくりを大切にしていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	5人	2人	0人	2人	多くの保護者が事業所の支援に満足している一方で、支援内容の見えにくさや理解の難しさから、判断が難しいと感じる保護者も一部見られた。	現在の支援の質を大切にしながら、支援内容や取り組みについて分かりやすく伝える工夫を行い、さらなる満足度向上につなげていく。